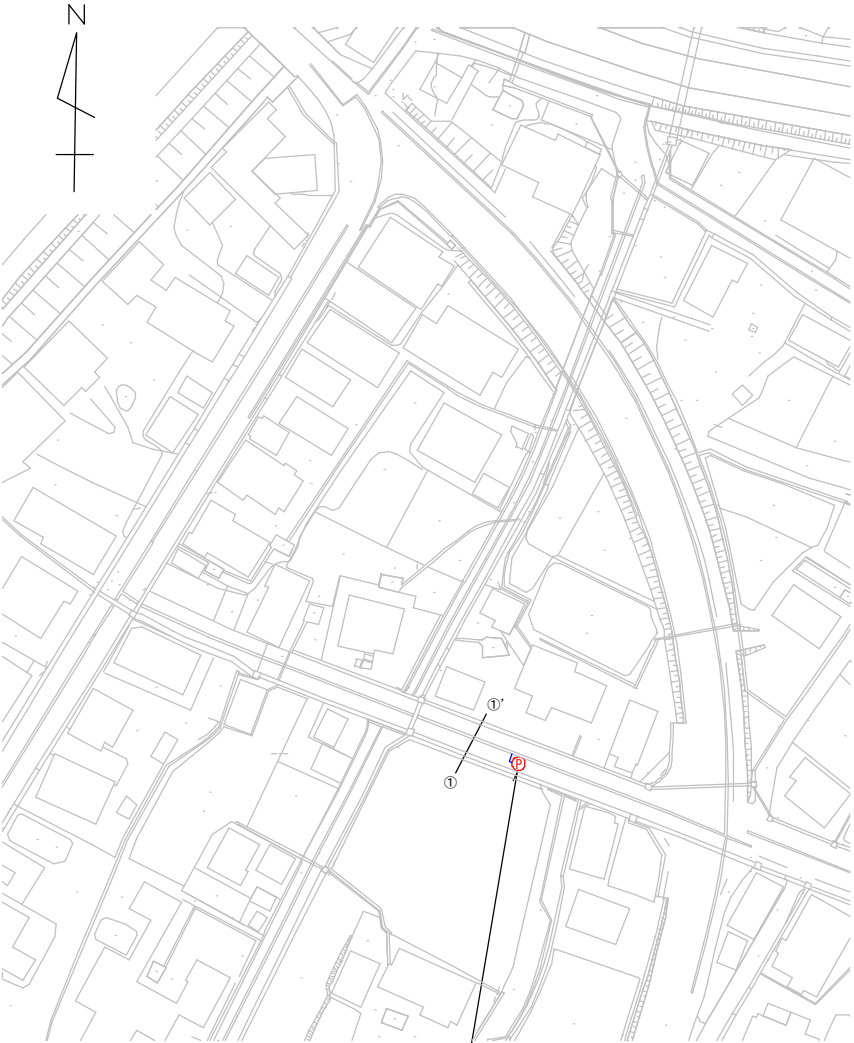


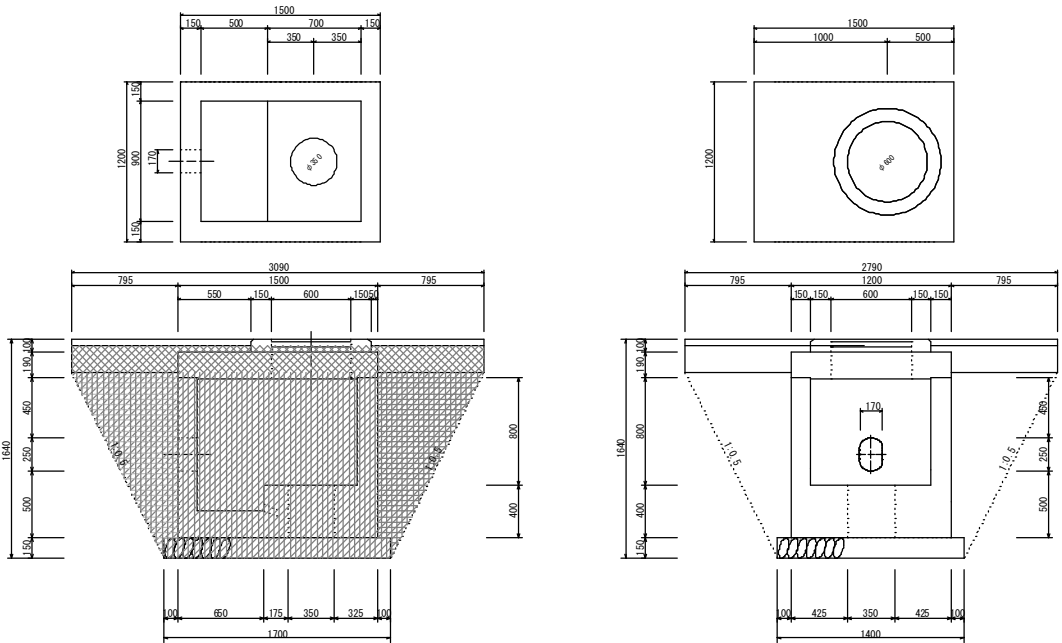
令8現建消整工第8号 市道島旧道線さく井工事

計画平面図 S=1:1000



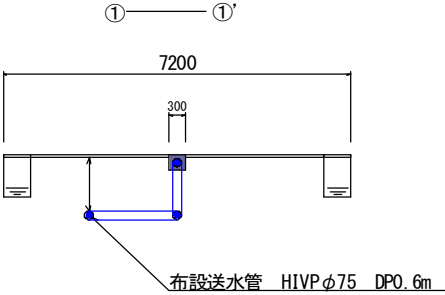
水中ポンプ φ80×7段×15kW N=1基
さく井 掘削径φ350 ケーシング径φ200 D=88mm

ポンプ室構造図 S=Free



工種	規格等	算出根拠	単位	数量
床掘	バックホウ	$(8.6 \times 0.24) + ((8.6 \div 2.4) \div 2) \times 1.35$	m3	9.4
埋戻し	バックホウ+タンバ	$9.4 \div (0.4 \div 2.6 \div 0.13)$	m3	6.3
路盤工	RC40、t=20cm	$(3.09 \times 2.79) - (1.5 \times 1.2)$	m2	6.8
舗装工	t=5cm	$(3.09 \times 2.79) - (0.45 \times 0.45 \times 3.14)$	m2	9.0
基礎砕石	RC40、t=15cm	$1.7 \times 1.4 \times 0.15$	m3	2.4
ポンプ室	本体及び蓋、3540kg		個	1.0

標準横断面図 S=Free



凡例

布設送水管

令和8年度		工事番号 令8現建消整工第8号	
魚沼	郡 (市)	町 今泉	地内
市道島旧道線さく井工事			
計画平面図、標準断面図			
縮尺	S=図示	図面全	1/1
測量		年 月 日	主任 技術者
設計		年 月 日	主任 技術者
魚沼市役所 産業経済部 建設課			

S=not



注 記

1. ※印の寸法は標準値を示し、現地の状況及び積雪深等に応じて、適時変更可能とする。

2. 自在バンド（18F-20F・20T-21Z）の電線管支持間隔は2.0m以下とする。

3. D1埋接地工事（極）は連結式接地棒3連結を標準とするが、規定の接地抵抗値（100Ω以下）が確保出来れば、適時減小可能とする。

注) 径 間: 本引込柱～最近電力柱の直線距離を示す。

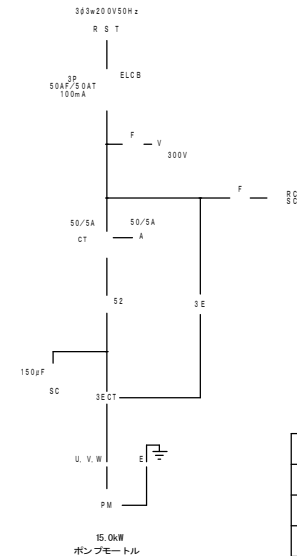
器 具 内 訳 表					
記 号	材 料 名 称	規 格 ・ 寸 法	消費電力 15.0kW	具 数	備 考
A	制御盤			1 面	取付パネルは別個めっきとする。
B	降壓変圧器及び金具	赤外線式 外装型 センサー式		1 個	
C	電力計計 (電力取引用)			1 個	電力支給品 (制御盤内収納)
D	融断用電磁脱線器			1 個	電力支給品 (制御盤内収納)
E	融断用タイマー			1 個	電力支給品 (制御盤内収納)
F	フットン表示板 (電力取付)			1 枚	
G	降壓変圧器ケーブル	付属ケーブル	0.5 □	5.0 m	5.0 x 16
H	ポンプ用防水ケーブル	付属防水ケーブル EVCT 3C	14 □	12.0 m	14 x 12 付属ケーブルは防水電線ケーブルとする。
I	水位電極防水ケーブル	付属防水ケーブル VCF 2C	0.75 □	12.0 m	6.0 x 12 付属ケーブルは防水電線ケーブルとする。

注) ポンプ防水ケーブル太さは、1本当りのケーブル長さにより、メーカー選定表にて決定する。

S=1:10



3φ3w200V50Hz



令和8年度		工事番号		令和8年度第1号	
魚沼市		町		泉 内	
市道魚沼連絡さく井工事					
電気設備図					
縮尺	図示		開 闢 全		1/1
測量	年 月 日		主任 技術者		
設計	年 月 日		主任 技術者		
魚沼市 産業経済部 建設課					